

平成27年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。

次の作品は、平成27年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。

※学年は平成27年度のものです。

岡山県教育委員会教育長賞



里庄町立里庄西小学校5年
河田 陽菜

自分は見たけど見ていないふり、聞こえたけど聞こえていないふり、知っていても言わないふり。これらは全部自分はしていないつもりでもいじめになります。その事をサルにたとえて伝えようと思って描きました。

『いじめない ゆうきをもとう わたしから』

倉敷市立茶屋町小学校2年 小坂 亜香

いじめている、いじめられているところを見てだまっているのは、いじめているのと同じだから、勇気をもって声をかけて、それがみんなに伝わっていけば、助けることも、いじめをなくすこともできると思います。



『助けてと言えない気持ちに 気づきたい』

美作市立作東中学校1年 永谷 春菜

いじめられても、誰にも言えずに一人で悩んでいる子もいると思います。気づいてくれる人がいるだけで苦しみが軽くなります。私はそんな苦しみに気づき、寄り添ってあげられる人になりたいと思いこの標語を作りました。



優秀賞



赤磐市立桜が丘小学校1年
安藤 瑞姫



真庭市立天津小学校2年
道下 温斗



倉敷市立西阿知小学校3年
安原 悠太



倉敷市立二万小学校4年
瀬尾 優介



岡山市立西大寺中学校1年
那須 愛美



笠岡市立真鍋中学校2年
久一 倫子



笠岡市立笠岡東中学校3年
小林 優奈



県立高梁城南高等学校1年
稲富 琳子

『やめようよ なかまはずれとしらんぷり』
岡山市立西大寺小学校1年 笹井 愛奈

『その言葉 自分が言われて 気持ちいい?』
赤磐市立山陽北小学校3年 西俣 智佳子

『その言葉 やさしい心 入ってる?』
総社市立総社中央小学校4年 武本 和樹

『変わったよ きみが言った 一言で』
浅口市立六条院小学校6年 荒砂 舞

『その空気 流されなくて たち切って』
笠岡市立笠岡東中学校1年 山河 美郷

『君の目は いつまでいじめを 見逃すの?』
和気町立和気中学校2年 天藤 颯哉

『考えて その一言の そのあとを』
岡山県共生高等学校2年 片岡 紗良

『気づこうよ 画面の向こうで 流れる涙』
県立岡山操山高等学校3年 後藤 はるか

平成27年度 大好評!「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀作品11作品を紹介いたします。(学年は受賞時)

お母さんのお手紙でがんばれるで賞

『おべんとう』

倉敷市立味野幼稚園 山根 菜音

ぼくのおべんとうにはいつもママのおてがみがはいています。ぼくはおてがみがうれしいです。おてがみにきょうのおやつがかいてあるとおべんとうよりたのしみです。おべんとうにきらいなものははいていてもがんばって食べます。

すてきな家族の団らんで賞

『わが家のルール』

真庭市立中津井小学校 第2学年 大森 ころこ

わたしのいえには、ルールがあります。それはノーメディアデーです。テレビを見ないことです。わたしはちょっといやだけど、いもうと、おもちゃやピアノであそびます。なので、「おなかすいた〜。」と言いがらたべます。そして、夜もノーメディアデーです。きょうあったことを一人ずついいます。みらいとおかあさんおとうさんとゲラゲラとわらいます。よるの時間はたのしいです。「ごちそうさまー。」「ハッハッハッハッハッハッ。」

お母さんの思いが伝わったで賞

『わたしの手紙』

倉敷市立万寿小学校 第4学年 高下 紗季

私は、お母さんとけんかをしてしまいました。私がクローゼットにいたとなんとなくお母さんのけしう箱を見たくなり、はっとしました。お母さんのけしう箱に大事なお母さんの手紙がはいていました。わたしは、なみだがでそうになりました。わたしは、一生けんめいかじをしているお母さんを見て「あやまろう。」と心から思いました。

「伝えること」は大切に賞

『つたえる』

岡山市立妹尾小学校 第6学年 美藤 さくら

私の家でかならずやること。それは、自分が思ったことはすぐに口に出して伝える、というのをしています。そのきっかけは、お父さんです。私のお父さんは私が一年生のとき、急になくなってしまって、私達が伝えたいこと、言っておきたかったことなど、ぜんぜん伝えられなかったのです。とってもこうかいます。だから、自分が思ったこと、言いたいことは、伝えよう!ということからはじまりました。そのおかげで、今こうかいていることはありません。これからも続けていきたいです。

お父さんの宝物になったで賞

『父の日に』

県立津山高等学校 第1学年 河本 明日佳

いつからか、父と話す機会もかなり減ってしまった。父の日も、ここ数年何もしていない。そんなことをふと思い、夕方にレターセットをとりだして手紙を書いてみた。少し恥ずかしかったが、父の日に渡した。すると一あ父が泣いた。初めて見た。なんだか、恥ずかしさはもうなくて、うれしかった。家族もずっと一緒にいられるわけじゃないし、自分の気持ちを伝えられることがこんなに大切に素晴らしいんだと思った。

父の背中を見て育ったので賞

『最後の親子ゲンカ』

倉敷市 若狭 庸子

「中学の先生からでんわだよ。」と毎週くらい私の会社に電話がかかる。十五年前息子はいわゆるヤンキー、金髪にピアス、夜間補導。作業着姿の主人と何度頭を下げただろう。そんな息子が三年後いい就職を付けてしまった。「スーツ着て楽ができるじゃろうが。」と怒った父。「誰が親父の仕事が汚いかいやなんて言ったか。俺は親父みたいないい職人が夢なんじゃ。」と言いつつ返した。それから主人は息子を叱れなくなった。今は建築士になり、父をすでに超えている。

家族みんなで食べるとおいしいで賞

『きょうのおひるごはん』

勝央町立勝間田小学校 第1学年 西元 和夏

おかあさんがいそがしかったので、おとうさんとしょにそうめんをゆがしました。つくえにすわっておとうさんとおねえちゃんと、たべました。おいしかったけどおかあさんがすわっていないから、いつもとちがいました。とちゅうからおかあさんがきて「つくってくれたんじやなーありがとーありがとー。」といました。びっくりするくらいそうめんがおいしくなりました。やっぱり四人がいいな。もうちょっとまったら、よかったかな。

お父さんの優しさが伝わるで賞

『お父さんのぎゅう』

高梁市立松原小学校 第3学年 谷 美悠

お父さんは、仕事から帰ってくると第二人と私の三人を必ずぎゅうとつかわりばんこにだっこしてくれます。とても気持ちよくて、うれしい気持ちになります。それを見て、お母さんはいつもわらいながら、「うらやましいわあ。」と言います。私は、これからはおとうさんにぎゅうとしてほしいです。

おばあちゃんに感謝で賞

『おばあちゃんからの注意』

倉敷市立万寿小学校 第5学年 松下 未侖

私の家では、いつもみんなでごはんを食べています。お父さんは仕事でいないのでお母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、妹と食べます。ごはんを食べる時になると、私はとてもいやになります。「今日もまた言われるのかあ。」と。私がごはんを食べているといつもおばあちゃんに「おぎょうぎが悪いよ。」と注意されます。私はそれがいやなのです。「気をつけているのに。」と思います。ところがある日、私の友だちに「おぎょうぎがいいね。」と言われました。私は「これはおばあちゃんのおかげだ。」と思うれしかったです。おばあちゃんいつも注意してくれてありがと。

家族のアルバムは愛情のしるしで賞

『家族写真』

岡山市立興除中学校 第3学年 石丸 海里

うちの家族は、私の誕生日や何かの節目の日になると、きまって家族写真を撮ります。これは、私が生まれる前から続く家族の行事のような物になっています。撮った写真は一つのアルバムにまとめられていて、いつでも見られます。両親が若い頃の写真もあって、「こんなだったのか・・・」と今と変わりに驚いたりもします。この写真を見ると今までどれほど大切に私を育ててきてくれたかが、ものすごく伝わってきます。この愛情をいろんな形で恩返ししていきたいと思いました。

お母さんのすてきな子守歌で賞

『とーさんとかーさんの宝物』

真庭市立天津幼稚園 保護者 今石 真理子

六才と三才の娘たちに寝る前に毎晩必ず「かなちゃんとなるちゃんは、とーさんとかーさんの宝物じゃけん。」と言います。布団に入って寝る準備ができると「ほんなら言うて!!」と上の子が言うので、それが合図です。一度で言うことを聞かず、怒られてふてて布団に入った夜でもこの一言を言わないと一日が終わった気がしない私です。何がきっかけで言い始めたのか全く覚えていませんが、かれこれ二年半はたちます。この一言が子守歌替わりのように安心して寝られるうちは、夜勤はしたくないなあと思う私です。